

■2番目、「Don' t be discouraged.” がっかりしない。」ということです。

「今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」(コリント人への手紙第二 4 章 17 節・18 節)

■見えないものを見ましょう！見えるものを見ず、見えない「天国」を見ましょう！見えない「天の報い」を見ましょう！

コリント人への手紙にはこう書いてあります。「ですから、私たちは勇気を失いませぬ。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。」(2 コリント 4 章 1 6 節) 体はどんどん弱っていきます。髪の毛はどんどん薄くなっていきます。物覚えも悪くなり、子どもの名前も何だったっけ…？なんて事もあります。(笑) でもこれはしょうがありません。私たちの肉体は弱くなるのです。でも内なる私たちは日々強められてきます。「永遠」のスコットがすごいことになっていますよ！たとえ私たちが死ぬ日まで苦しんだとしても、死んだら天国です！。でも神様は私たちがこの地上で必要以上に苦しむことは願っていません。神様の願いは、今、生きている間に天国の生き方をする事です。それが永遠です。ですからあなたは Heavenly Man です！天国人です！『永遠』に焦点をあてましょう！

■リック・ウォレン先生が「永遠の価値」についてお金を例に話してくれました。

例えば、世界経済を救う為に日本の経済とアメリカの経済が合併するとします。6 月 1 日から日米は通貨 1 つにし、日本は「円をもう使いません。」と発表します。だから政府は「この 3 カ月の間にちゃんと交換しましょう。」と発表します。その情報を皆さんが今日聞いたら、すぐに銀行に行ってドルがあるうちに交換しますね。なぜですか？それは 6 月 1 日から私の持っている円が何の価値もなくなってしまうからです。これと同じように、私たちが死んだ瞬間に今持っている、今自分が持っているすべての物は何の価値もなくなってしまうです。でも死後に価値ある報いがあります。あなたが今語る言葉が未来に報いをもたらします。あなたが今の誘惑に負けてしまわない事、それが永遠とつながっています。あなたの献金も永遠とつながりがあります。また、あなたの行動が永遠とつながりがあります。あなたが人を救うことが永遠とつながりがあります。今年に入って私はそういったことをリストアップしました。どのくらい天国に行ったら報いがあるのか？天国に行ったらどのくらいお金があるか？でも皆さん！天国に行ったら、お金はいりません！天の道路は何で出来ていますか？ゴールド（金）ですよ。お金はもはや価値はありません。

■「永遠のいのち」の一番の報いは何でしょうか？

それは天のお父様です！主イエス・キリストです！私達は神の栄光の中に入る事が出来ます！今は私達は永遠の報いについてあんまり良くわかりられないかもしれませんが、今の生き方がこれからの「永遠」を全部決めているのです。でも、気をつけて下さい。クリスチャンが「行い」を通して、「がんばらなくちゃ！」ではなくて、報いが欲しかったら恵みをいっぱい受け取らなければならない。そのことが大事です。アーメンでしょうか？ローマ書の 2 章、コリント人への手紙、創世記、黙示録、聖書の中にはそのような約束がたくさん書かれています。

■最後に、マイナスなこともあります。神を知らない人にも「永遠」があるという事実です。

でも、その「永遠」は「良い永遠」ではありません。永遠の中には「永遠の天国」、「永遠の地獄」の両方があります。すべての人がいつか主の前に立たなければなりません。裁きの時があるのです。だからこそ今しか出来ないことがあります。それは天国に行っては出来ないことです。それは伝道です。天国ではみんなもう救われているので伝道はできません。今しか出来ないのです！

■このメッセージを私の教会で分かち合ったとき、教会のある姉妹が心触れられ、まだ救われていないお母さんに電話をしました。ちょうどその時、お母さんはテレビの番組で、天国に行った少年の話しを見ていて、姉妹が電話で「お母ちゃん！天国はあるよ。お母ちゃん！私は天国に行くよ！」そして姉妹が涙を流しながら、「お母ちゃん！私と一緒に天国に行ってほしいよ。」と言ったんです。そうしたらお母さんも「私も行きたいよ。」と言いました。皆さん、お母さんはもちろんイエス様を知りませんでした、十字架の贖いも詳しく知りませんでした。でも、「天国に行きたい！」と言ったことで、心がスッと開かれました。皆さん！天国の話をもっとしましょう！「永遠」についての話をもっとしましょう！

■私の好きな映画『シンドラーのリスト』、暗い映画ですが、見た時には泣きました。泣いて泣いて目がはれました。

このシンドラーという人は実在の人物です。ドイツ人の彼は、お金持ちになりたくて、工場を作り、工場で働く労働者が欲しかったので、ユダヤ人を無給で奴隷のように働かせようとしてナチスと取引をしました。最初はただ金の為。会社が儲かり、そして国の為にもなると考えてのことでした。決してユダヤ人を助けようとしたわけではありませんでした。

彼のアシスタントはユダヤ人でした。ユダヤ人がこの工場で働けば、ナチスのアウシュヴィッツや強制収容所に行く必要がなかったので、工場で働けば死を免れるという状況でした。そのアシスタントは、シンドラーに「この人を雇ったらどうですか？」と何度も働きかけ、次第にシンドラーの心はどんどん柔らかくなっていきました。そして人を助けたい気持ちになりました。結局、戦争が終わった時、シンドラーは千数百人のユダヤ人を助けました。しかし、映画の最後のシーンで、彼はナチスのバッチを持っていたのでユダヤ人たちは早く逃げるようにすすめます。そして最後の別れの時、彼と奥さんが車に乗ろうとしたその時、助かった千数百人もユダヤ人のみんなが彼にプレゼントを渡しました。「シンドラーさんのおかげで私たちは今、生きている。」と。その場面でシンドラーは、「ありがとう。…でも、もっと多くの人を助けることができたはずなのに。」と呟きます。このナチスの金のバッジで、後、2、3 人のユダヤ人を救う事ができたかもしれない。この素敵なベンツを売っていたら、10 人、20 人ぐらいいっと雇う事ができた。もっと出来たはずなのに…！！

シンドラーという人は素晴らしい事をした人です。でも、「もっとできたはずなのに…」と言って私は死にたくはありません。「ちょっとがんばったよー。」そのような生き方はしたくないです。「良くやった忠実な僕よ。」神様にこう言っほしいです。必ず私たちは天に行きます。最後にもう一度言います。今、これだけです。「永遠」、「永遠」、「永遠」、そして「永遠」を考えて下さい！卒業生の皆さん！学生の皆さん！皆さんがここで学んできた目的は、ただ頭が良くなる為や、何とかキリスト教を作り上げる為ではありません！「永遠」を知り伝える為です！■

CFNJ 特別講義と ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。（自由献金制、テキスト代有料。）通常の授業も聴講が出来ます（有料）又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。



4月22日（月）～26日（金）迄

ロドルフォ・ガルサ師

アミスタッド・デ・モンレー教会・
エピセントロ聖書学院創設者・学院
理事長

1・2時間目

（午前8時45分～10時55分）



5月1日（水）・2日（木）

富田 慎悟 師

新宿シャローム教会・ユースパスター
24 時間 365 日の祈りの家のディレク
ター。今年の YFN ゲスト。

1・2時間目

（午前8時45分～10時55分）



5月13日（月）

ヴァーナー・ギット 師

工学博士、スイスのバーゼル国家独立神学大学の
常任客員講師、元ドイツ連邦理工学研究所所長。
今回のテーマ「科学者として、なぜ聖書を信じるの
か？」1990 年「精養工学校シンポジウム」設立。毎
年 150 名以上が参加。著書「初めに信ぜられし」。

2・3時間目

（午前10時～12時まで）



5月16日（木）・17日（金）

宇佐美 正海 師

創造論研究会（ジェネシスジャパン）名誉会長
／医学博士／水戸第一聖書バプテスト教会牧
師／宇佐神カニック院長／東北大学医学部卒

2・3時間目

（午前10時～12時まで）



5月31日（金）

キース・バンクス 師

CFNI 講師。インターナショナル・
クリスチャンチャーチ・ユース英語
担当牧師、プロドラマー。

1・2時間目

（午前8時45分～10時55分）



6月3日（月）～5日（水）

カレン・バーンズ 師

ファイヤー・フォー・ザ・ネーションズ
代表。ユースおよび CS（キッズ・ミニ
ストリー）牧師、賛美リーダーとしての
教会の働き、また慈善活動団体の働き
など、30 年以上にわたり子どもミスト
リーの活動を展開。世界各国でストリー
トチルドレン保護、孤児院、教会開拓、
宣教、伝道のミニストリーに従事する。
現在 は テネシー州 レバノンの
「Hunter's Point Celebration Center」
ミニスター。ご主人のアレンさんとは結
婚生活 32 年。すでに家庭を持つ 2 人
の娘さんと 5 人の孫に囲まれた「疲れ
を知らない」おばあちゃんとしての顔も。

2・3時間目

（午前10時～12時まで）

2013年度1 学期 授業カリキュラムスケジュール

（2013年4月15日（月）～7月5日（金）迄）

1・2年コース（必修科目）

（敬称略）

	月	火	水	木	金
1 AM8:45～9:40	旧約聖書概論Ⅰ 田中 信矢	所約束の地を 所有せよⅠ 三浦 雅範	世界教会史Ⅰ 鍛冶川 利文	使徒の働きⅠ 田中 博	聖書 日本人の生活と 松原 望
2 AM10:00～10:55					
3 AM11:05～12:00	信仰の土台 G・グドール	旧約聖書概論Ⅰ 田中 信矢	信仰の土台 G・グドール	神の国に於ける賛美 長沢 崇史	イエスキリストの生涯Ⅰ J・ジャンセン

アルプスコース（必修科目）

1 AM8:45～9:40	宣教と 開拓伝道 R・グドール	牧会 セリカ グウⅠ 小栗 昭夫	弟子訓練 金 聖圭	ヨブ記Ⅰ 石田 吉男	靈的戦いの学び 岡田 好弘
2 AM10:00～10:55					
3 AM11:05～12:00	近郊の牧師	伝道のマスタープラン 鍛冶川 利文	伝道のマスタープラン 鍛冶川 利文	聖書釈義Ⅰ 松原 望	聖書釈義Ⅰ 松原 望

選択科目

午後 PM13:00～15:00	タンバリンクラス 平石有紀子	英語クラス G・グドール	ドラムクラス 田中 満矢	実習 （必修）	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川 紀子
	ボイストレーニング 新井田路子		ピアノクラス 新井田路子		